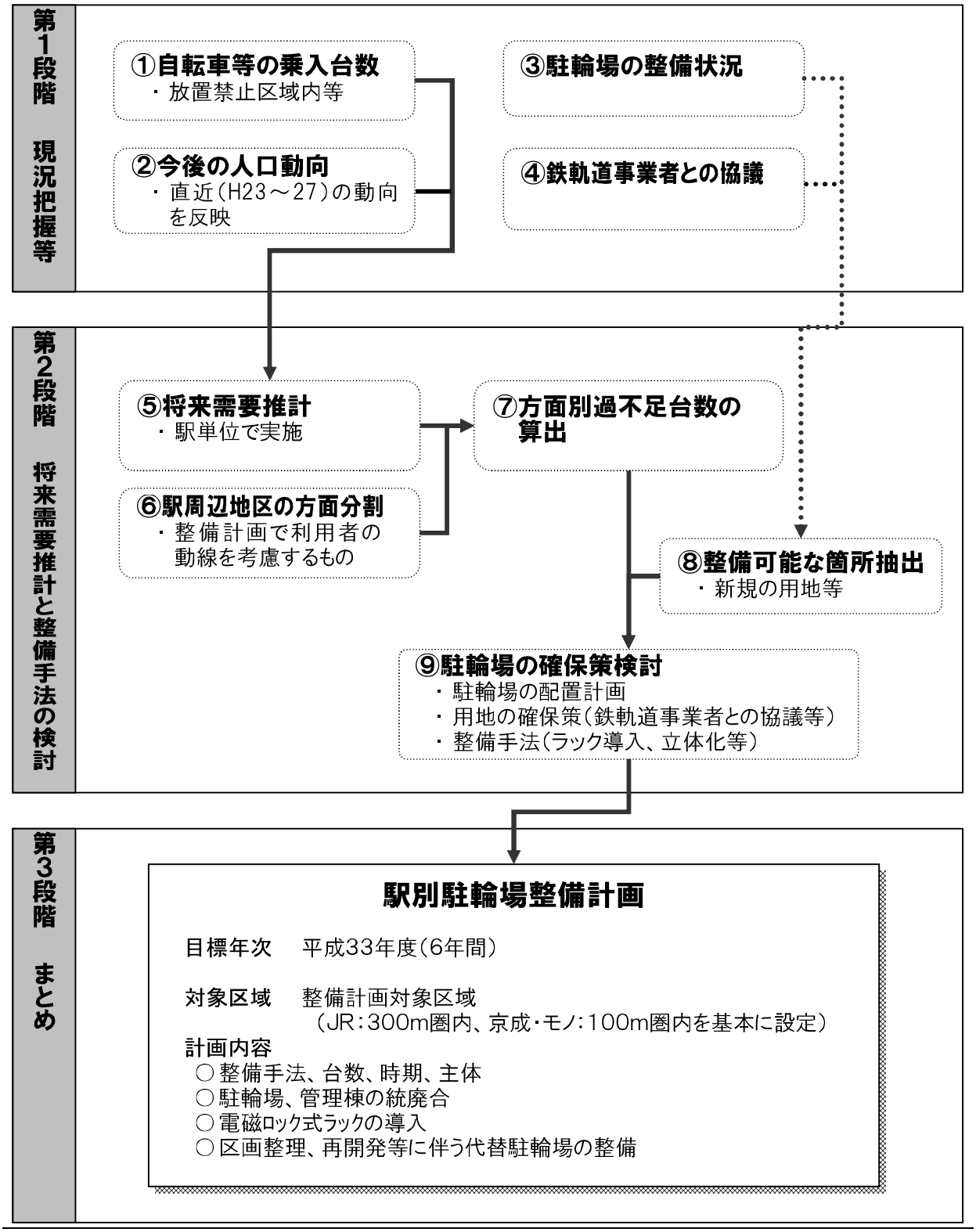
４．駅別駐輪場整備計画

４－１　整備計画作成にあたっての考え方

（１）検討フロー



（２）現　況

○ 自転車等の乗入台数　…検討フロー図①

調査時点	平成27年6月2日(火)晴天の午前10時、午後3時の2回実施
調査方法	市の駐輪場内の自転車等、市内各駅周辺※に放置されている自転車等の台数をカウント。 ※ 放置禁止区域を指定している駅 … 区域内の自転車・原付の放置台数、及び自動二輪の違法駐車台数 放置禁止区域の指定がない駅 … 総合計画の整備計画対象区域内（概ね100～200m圏内の区域）
調査結果	①乗入台数　約4万3千台　（内訳）駐車約4万1千台、放置約2千台（ピーク時、午後3時時点。） ②主な特徴　・乗入台数がピークとなる時間帯は、ほとんどの駅で午後である。 ・放置台数は減少傾向にあるが、一部の駅では放置率が高い値となっている。

○ 駐輪場の整備状況　…検討フロー図③

箇所数	市内45駅周辺144箇所　※H27.6.3 現在
収容台数	約6万3千台　※H27.4.1 現在

（３）将来需要推計

○ 今後の人口動向　…検討フロー図②

確保すべき駐輪場の収容台数の検討にあたり、計画目標年次（平成33年度）における各駅周辺への自転車等の乗入台数を算定するため、町丁目別の人口推計を行った。

〇平成23～27年の住民基本台帳等の登録人口の動向に基づいて算出した町丁目別の人口伸び率によって、平成27年の人口から平成33年の人口を推計した。

○ 将来需要推計　…検討フロー図⑤

平成27年度の駐輪場の定期利用登録者の住所地別の構成比を用いて、駅口別の乗入台数（駐輪場内の駐輪台数＋放置台数のピーク台数を使用）を按分し、町丁目別の人口伸び率を乗じて、平成33年度時点の乗入台数を推計した。

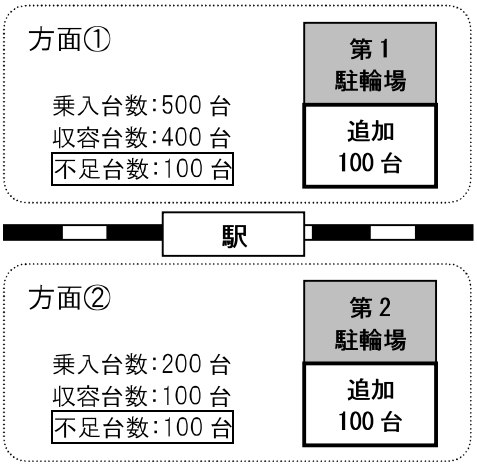
さらに、人口伸び率による将来需要推計には反映されない直近の大規模開発計画等による新規乗入需要を考慮した。

（４）整備計画の検討

○ 駅周辺地区の方面別過不足台数の検討　…検討フロー図⑥・⑦

駅に乗入れる自転車等の動線を考慮した整備計画とするため、駅周辺地区を鉄道及び道路（幹線道路など）により分割を行った。

将来需要推計で算出した確保すべき駐輪場の収容台数を方面別に配分し、その方面における既存の駐輪場の収容台数と比較して、過不足台数を算出した。



○ 整備可能な箇所の抽出　…検討フロー図⑧

既設の駐輪場の再整備によって不足する収容台数を確保することができない駅周辺については、鉄軌道事業者に対する用地提供等の協力要請を行うとともに、未利用の市有地や広幅員歩道・高架下などの道路の一部など、利用可能な箇所を抽出した。

○ 駐輪場の確保策の検討　…検討フロー図⑨

確保すべき収容台数を充足させるため、用地やコストなどに関する制約を踏まえた整備・再整備の手法について検討を行った。

４－２ 駅別駐輪場整備計画

１． 幕張本郷駅 … 37
２． 幕張駅 … 38
３． 新検見川駅 … 39
４． 稲毛駅 … 40
５． 西千葉駅 … 41
６． 千葉駅・栄町駅 … 42
７． 東千葉駅 … 43
８． 都賀駅 … 44
９． 本千葉駅 … 45
１０． 蘇我駅 … 46
１１． 鎌取駅 … 47
１２． 誉田駅 … 48
１３． 土気駅 … 49
１４． 浜野駅 … 50
１５． 海浜幕張駅 … 51
１６． 検見川浜駅 … 52
１７． 稲毛海岸駅 … 53
１８． 千葉みなと駅 … 54
１９． 検見川駅 … 55
２０． 京成稲毛駅 … 56
２１． みどり台駅 … 57
２２． 西登戸駅 … 58
２３． 新千葉駅 … 59
２４． 千葉中央駅・葭川公園 … 60
２５． 千葉寺駅 … 61
２６． 大森台駅 … 62
２７． 学園前駅 … 63
２８． おゆみ野駅 … 64
２９． 市役所前駅 … 65
３０． 県庁前駅 … 66
３１． 千葉公園駅 … 67
３２． 作草部駅 … 68
３３． 天台駅 … 69
３４． 穴川駅 … 70
３５． ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ駅 … 71
３６． 動物公園駅 … 72
３７． みつわ台駅 … 73
３８． 桜木駅 … 74
３９． 小倉台駅 … 75
４０． 千城台北駅 … 76
４１． 千城台駅 … 77

JR総武本線・京成電鉄千葉線

幕張本郷駅

【現　況】

幕張本郷駅と京成幕張本郷駅を合わせた1日平均乗車人員は約3万4千人、自転車等の乗入台数は約2,500台である。
駐輪場は海側に4箇所、山側に2箇所設置しており、収容台数は3,020台となっている。

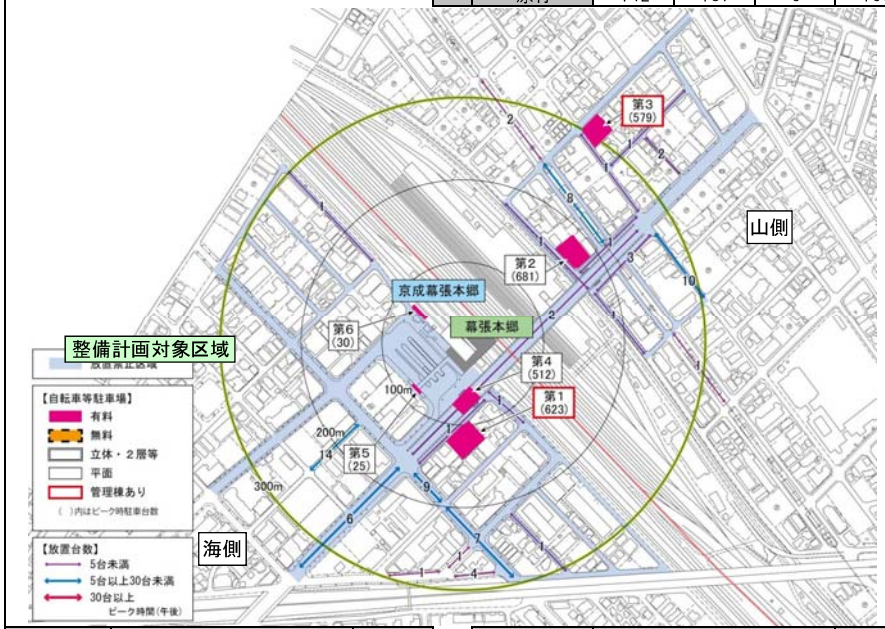
【整備計画】

海側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第5駐輪場の廃止を検討する。
山側では、推計台数が収容台数を下回ることから、駐輪場の整備は行わない。なお、第2、第3駐輪場は民地借地による駐輪場であることから、安定的な収容台数の確保を前提としつつ、今後の駐輪場の縮小及び廃止について検討を行う。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	2,506	2,450	56	3,020
自転車	2,364	2,313	51	2,854
原付	142	137	5	166



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,216	1,190	26	1,325
自転車	1,128	1,106	22	1,229
原付	88	84	4	96

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,290	1,260	30	1,695
自転車	1,236	1,207	29	1,625
原付	54	53	1	70

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	26,981 人／日
京成	6,795 人／日

（H26千葉市統計書）

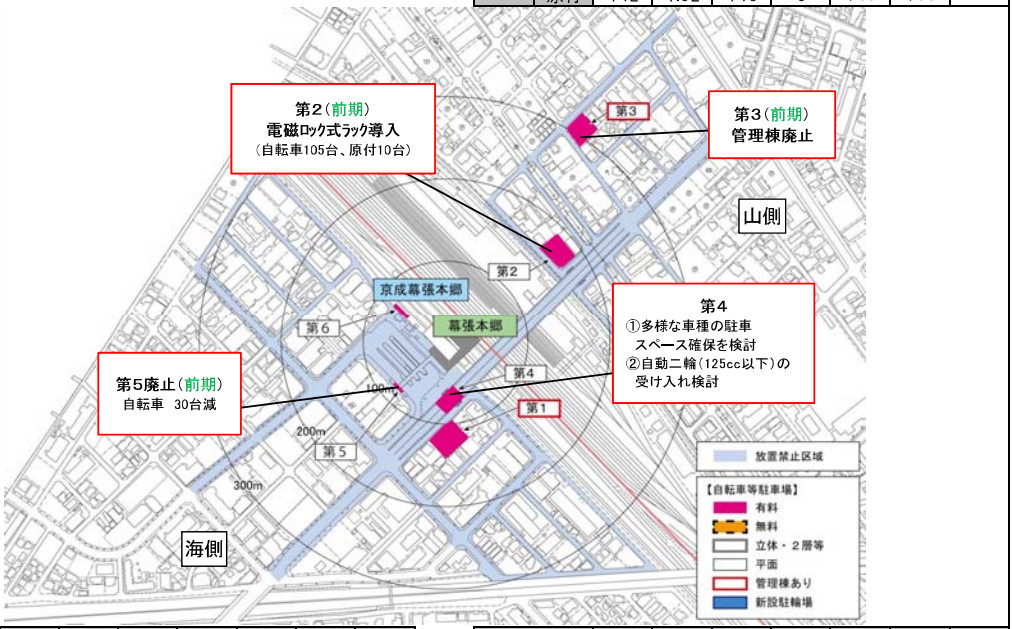
【需要推計】

幕張本郷駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は2,569台と推計しており、現在、収容台数3,020台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		1.03	1.02		1.01	1.01		1.04	1.04

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	2,506	—	2,569	0	2,569	3,020	−
自転車	2,364	1.03	2,424	0	2,424	2,854	−
原付	142	1.02	145	0	145	166	−



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,216	—	1,228	0	1,228	1,325	−
自転車	1,128	1.01	1,139	0	1,139	1,229	−
原付	88	1.01	89	0	89	96	−

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,290	—	1,341	0	1,341	1,695	−
自転車	1,236	1.04	1,285	0	1,285	1,625	−
原付	54	1.04	56	0	56	70	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(原付)	一時利用(内数) 現況(原付)	一時利用(内数) 計画(原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第1		629 (56)		629 (56)	200 (20)	200 (20)	—	市	市	市
	第4		631 (40)		631 (40)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第5	廃止	30 (0)	-30 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市	市
	第6		35 (0)		35 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	計		1,325 (96)	-30 (0)	1,295 (96)	200 (20)	200 (20)				
山側	第2	電磁ロック式ラック導入	895 (40)		895 (40)	0 (0)	115 (10)	前期	民	市	市
	第3	管理棟廃止	800 (30)		800 (30)	100 (10)	0 (0)	前期	民	市	市
	計		1,695 (70)	0 (0)	1,695 (70)	100 (10)	115 (10)				
駅計			3,020 (166)	-30 (0)	2,990 (166)	300 (30)	315 (30)				

※主体欄　市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

JR総武本線・京成電鉄千葉線

幕張駅

【現　況】

幕張駅と京成幕張駅を合わせた1日平均乗車人員は約2万人、自転車等の乗入台数は約2,200台である。
駐輪場は海側に6箇所、山側に5箇所設置しており、収容台数は2,586台となっている。

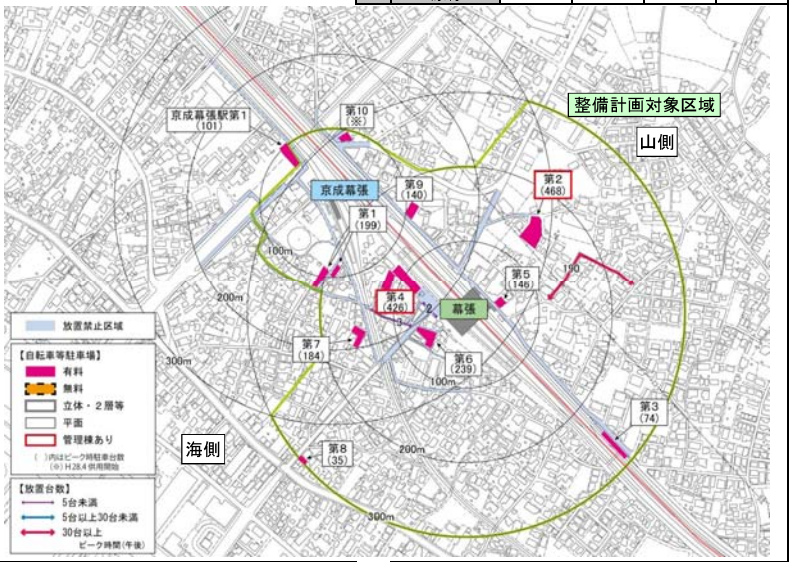
【整備計画】

海側では、若葉住宅地区計画による乗入台数の増加が見込まれるものの、推計台数は収容台数を下回ることから、第8駐輪場の廃止、第7駐輪場の縮小を検討する。
山側では、区画整理事業の進展に伴い、平成30年度に第2駐輪場が廃止となるため、区画整理所管の公共用地等を活用して代替駐輪場の整備を行う。また、第2駐輪場用地の換地先における駐輪場整備は平成33年度に実施し、平成34年度に供用開始予定である。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	2,207	2,012	195	2,586
自転車	2,118	1,928	190	2,435
原付	89	84	5	151



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,189	1,184	5	1,518
自転車	1,181	1,176	5	1,494
原付	8	8	0	24

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,018	828	190	1,068
自転車	937	752	185	941
原付	81	76	5	127

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	16,111 人／日
京成	3,937 人／日

(H26千葉市統計書)

【需要推計】

幕張駅周辺では、海側で、若葉住宅地区計画があり、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は2,315台と推計している。北口では、区画整理事業の実施に伴い、平成30年度に第2駐輪場を廃止しなければならないため、平成33年度の新設駐輪場の整備完了までの間、暫定の代替駐輪場を整備する必要がある。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		1.03	1.02		1.04	1.04		1.02	1.02

若葉住宅地区から想定される新たな乗入需要

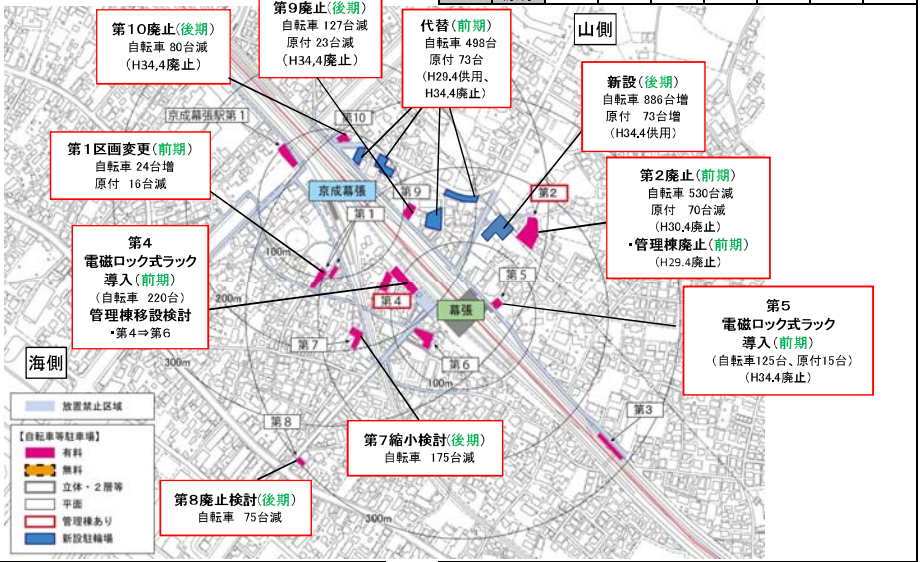
	居住人口	想定乗入台数	建設スケジュール等
若葉住宅地区	10,000 人	40台	海側需要：平成29年度以降　順次入居予定

東幕張土地区画整理事業に伴う駐輪場の統廃合予定

	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	備考
第2	600	600	廃止	—	—	—	—	—	
第3	80	80	80	80	80	80	80	80	
第5	158	158	158	158	158	158	廃止	—	新設駐輪場に統合
第9	150	150	150	150	150	150	廃止	—	新設駐輪場に統合
第10	80	80	80	80	80	80	廃止	—	新設駐輪場に統合
代替		整備工事	571	571	571	571	撤去	—	新設駐輪場に統合
新設						整備工事	959	959	
計	1,068	1,068	1,039	1,039	1,039	1,039	1,039	1,039	

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	2,207	—	2,275	40	2,315	2,586	−
自転車	2,118	1.03	2,184	40	2,224	2,435	−
原付	89	1.02	91	0	91	151	−



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,189	—	1,236	40	1,276	1,518	−
自転車	1,181	1.04	1,228	40	1,268	1,494	−
原付	8	1.04	8	0	8	24	−

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,018	—	1,039	0	1,039	1,068	−
自転車	937	1.02	956	0	956	941	15
原付	81	1.02	83	0	83	127	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(原付)	一時利用(内数) 現況(原付)	一時利用(内数) 計画(原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第1	区画変更	317 (24)	8 (−16)	325 (8)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市	市
	第4	電磁ロック式ラック	522 (0)		522 (0)	200 (0)	220 (0)	前期	市	市	市
	第6		245 (0)		245 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第7	規模縮小を検討	243 (0)	−175 (0)	68 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	第8	廃止を検討	75 (0)	−75 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	京成第1		116 (0)		116 (0)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	計		1,518 (24)	−242 (−16)	1,276 (8)	200 (0)	220 (0)				
山側	第2	廃止(H30.4)	600 (70)	−600 (−70)	0 (0)	100 (10)	0 (0)	前期	市	市	市
	第3		80 (10)		80 (10)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第5	廃止(H34.4)	158 (24)	−158 (−24)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	第9	廃止(H34.4)	150 (23)	−150 (−23)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	第10	廃止(H34.4)	80 (0)	−80 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	代替	H29整備～H34撤去						前期	県・市	市	市
	新設	新設　立体化整備		959 (73)	959 (73)	0 (0)	140 (15)	後期	市	市	市
	計		1,068 (127)	−29 (−44)	1,039 (83)	100 (10)	140 (15)				
駅計			2,586 (151)	−271 (−60)	2,315 (91)	300 (10)	360 (15)				

※主体欄　市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33　暫定：別表東幕張土地区画整理事業に伴う駐輪場の統廃合予定を参照
※平成30年度の第2駐輪場廃止に先立ち、第5駐輪場に電磁ロック式ラックを導入し、第2駐輪場の管理棟を廃止
※前期：海側　第4駐輪場への電磁ロック式ラック導入に伴い管理棟の移設検討

JR総武本線

新検見川駅

【現　況】

新検見川駅は、1日平均乗車人員が約2万3千人、自転車等の乗入台数は約2,200台である。
駐輪場は海側に6箇所、山側に4箇所設置しており、収容台数は3,709台となっている。

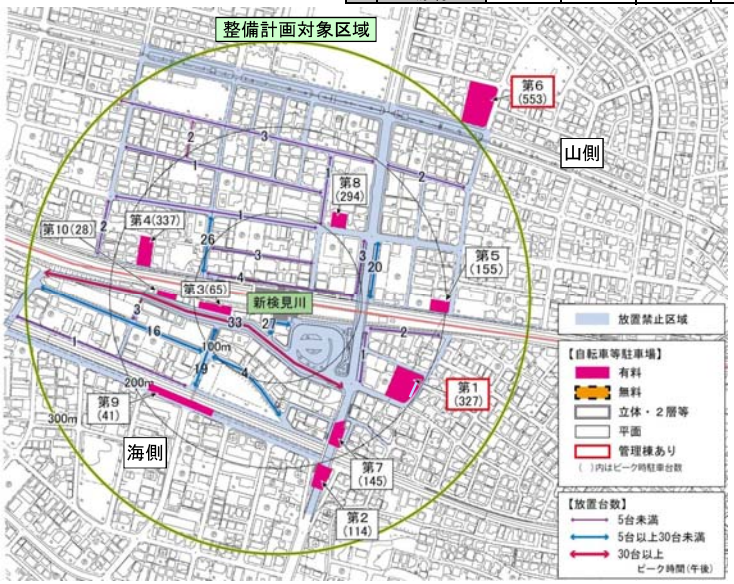
【整備計画】

海側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の廃止を検討する。また、第1管理棟を廃止し、第10駐輪場に管理棟及び電磁ロック式ラックを導入する。
山側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第6駐輪場の縮小を検討する。また、第6管理棟を廃止し、第5駐輪場に電磁ロック式ラックを導入する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	2,231	2,059	172	3,709
自転車	1,935	1,777	158	3,153
原付	296	282	14	556



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	826	720	106	1,730
自転車	682	588	94	1,404
原付	144	132	12	326

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,405	1,339	66	1,979
自転車	1,253	1,189	64	1,749
原付	152	150	2	230

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
JR	23,467 人／日

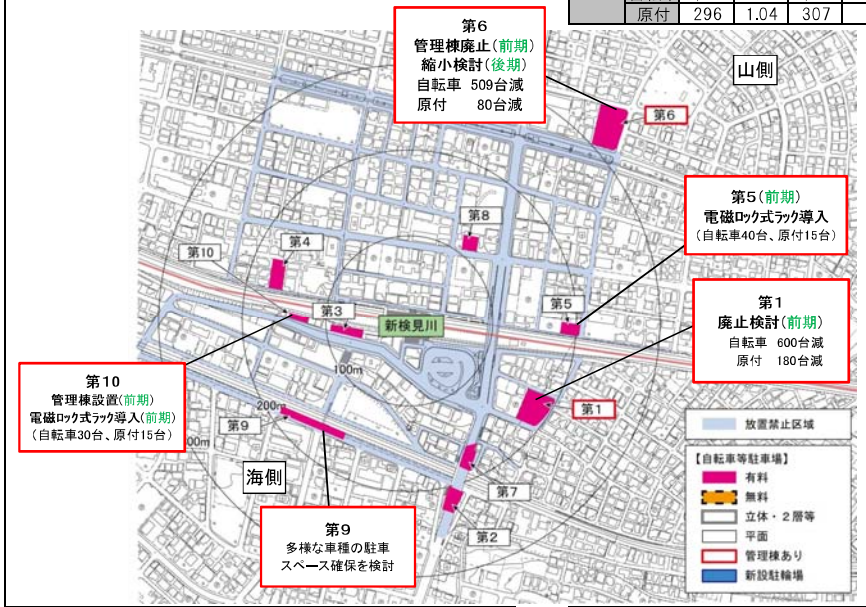
（H26千葉市統計書）

【需要推計】

新検見川駅周辺は、土地区画整理事業で整備された市街地が広がり、駅海側の検見川・稲毛土地区画整理事業（事業中）をはじめ、住宅の開発が進む地域からの乗り入れが多い。計画目標年次（平成33年）の乗入台数は2,290台と推計しており、現在、収容台数は3,709台を確保していることから充足している。

計画期間(H27)の伸び率	全体			海側			山側		
	自転車	原付		自転車	原付		自転車	原付	
	1.02	1.04		1.09	1.09		0.99	0.99	

整備計画図



全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	2,231	—	2,290	0	2,290	3,709	－
自転車	1,935	1.02	1,983	0	1,983	3,153	－
原付	296	1.04	307	0	307	556	－

海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	826	—	900	0	900	1,730	－
自転車	682	1.09	743	0	743	1,404	－
原付	144	1.09	157	0	157	326	－

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,405	—	1,390	0	1,390	1,979	－
自転車	1,253	0.99	1,240	0	1,240	1,749	－
原付	152	0.99	150	0	150	230	－

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第1	廃止検討、管理棟廃止	780 (180)	-780 (-180)	0 (0)	200 (50)	0 (0)	前期	民	市	市
	第2		251 (31)		251 (31)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第3		266 (32)		266 (32)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第7		208 (58)		208 (58)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第9		93 (25)		93 (25)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第10	電磁ロック式ラック、管理棟設置	132 (0)	-20 (15)	112 (15)	0 (0)	45 (15)	前期	市	市	市
	計		1,730 (326)	-800 (-165)	930 (161)	200 (50)	45 (15)				
山側	第4		494 (44)		494 (44)	0 (0)	0 (0)	—	民	市	市
	第5	電磁ロック式ラック	197 (18)		197 (18)	0 (0)	55 (15)	前期	市	市	市
	第6	管理棟廃止(前)、縮小検討(後)	953 (133)	-589 (-80)	364 (53)	100 (10)	0 (0)	後期	民	市	市
	第8		335 (35)		335 (35)	0 (0)	0 (0)	—	民	市	市
	計		1,979 (230)	-589 (-80)	1,390 (150)	100 (10)	55 (15)				
駅計			3,709 (556)	-1,389 (-245)	2,320 (311)	300 (60)	100 (30)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

JR総武本線

稲毛駅

【現　況】

稲毛駅は、1日平均乗車人員が約5万人、自転車等の乗入台数は約4,200台となっている。
駐輪場は、東京側に1箇所、千葉側に3箇所設置しており、収容台数は5,074台となっている。

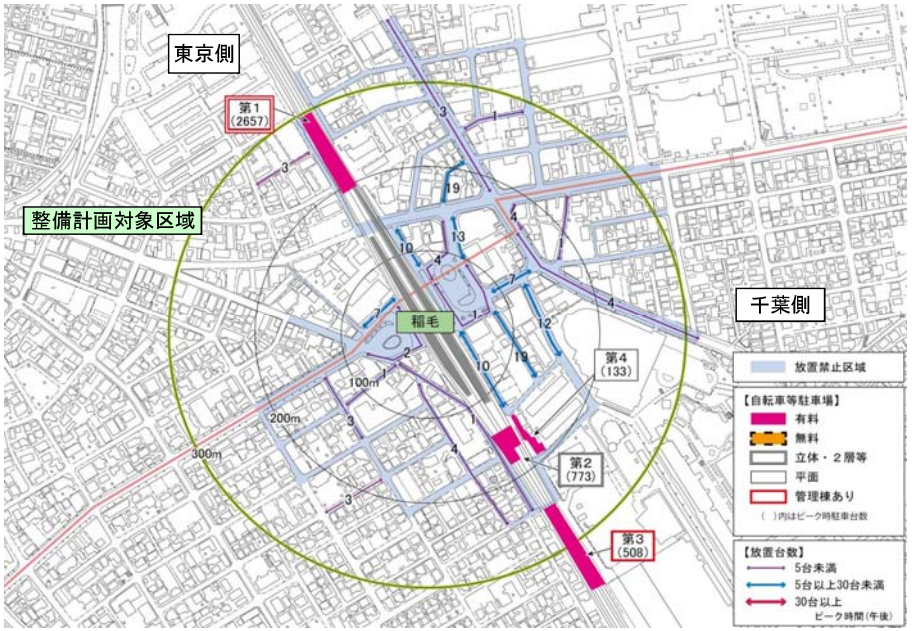
【整備計画】

東京側では、推計台数が収容台数を下回ることから、駐輪場の整備は行わないものとする。
千葉側においても推計台数が収容台数を下回ることから、第3駐輪場の縮小を検討する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	4,197	4,071	126	5,074
自転車	3,502	3,393	109	4,225
原付	695	678	17	849



東京側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	2,714	2,657	57	3,155
自転車	2,227	2,183	44	2,615
原付	487	474	13	540

千葉側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,483	1,414	69	1,919
自転車	1,275	1,210	65	1,610
原付	208	204	4	309

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
JR	50,138 人／日

（H26千葉市統計書）

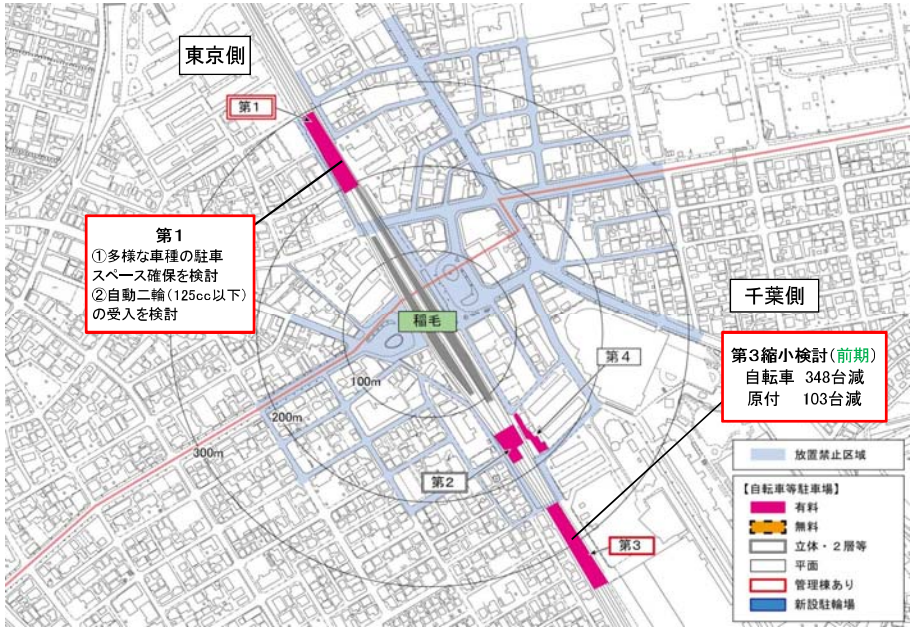
【需要推計】

稲毛駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は4,209台と推計しており、現在、収容台数を5,074台確保していることから充足している。

計画期間(H27)の伸び率	全体	自転車	原付	東京側	自転車	原付	千葉側	自転車	原付
		1.00	1.00		1.01	1.01		0.99	0.99

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	4,197	—	4,209	0	4,209	5,074	-
自転車	3,502	1.00	3,511	0	3,511	4,225	-
原付	695	1.00	698	0	698	849	-



東京側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	2,714	—	2,741	0	2,741	3,155	—
自転車	2,227	1.01	2,249	0	2,249	2,615	—
原付	487	1.01	492	0	492	540	—

千葉側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,483	—	1,468	0	1,468	1,919	—
自転車	1,275	0.99	1,262	0	1,262	1,610	—
原付	208	0.99	206	0	206	309	—

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
東京側	第1		3,155 (540)		3,155 (540)	200 (50)	200 (50)	—	JR	市	市
	計		3,155 (540)	0 (0)	3,155 (540)	200 (50)	200 (50)				
千葉側	第2		825 (115)		825 (115)	100 (10)	100 (10)	—	JR	市	市
	第3	縮小検討	944 (194)	-451 (-103)	493 (91)	0 (0)	0 (0)	前期	JR	市	市
	第4		150 (0)		150 (0)	0 (0)	0 (0)	—	民	市	市
	計		1,919 (309)	-451 (-103)	1,468 (206)	100 (10)	100 (10)				
駅計			5,074 (849)	-451 (-103)	4,623 (746)	300 (60)	300 (60)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

JR総武本線

西千葉駅

【現 況】

西千葉駅は、1日平均乗車人員が約2万3千人、自転車等の乗入台数は約1,100台である。
駐輪場は線路高架下に2箇所、山側に1箇所設置しており、収容台数は2,402台となっている。

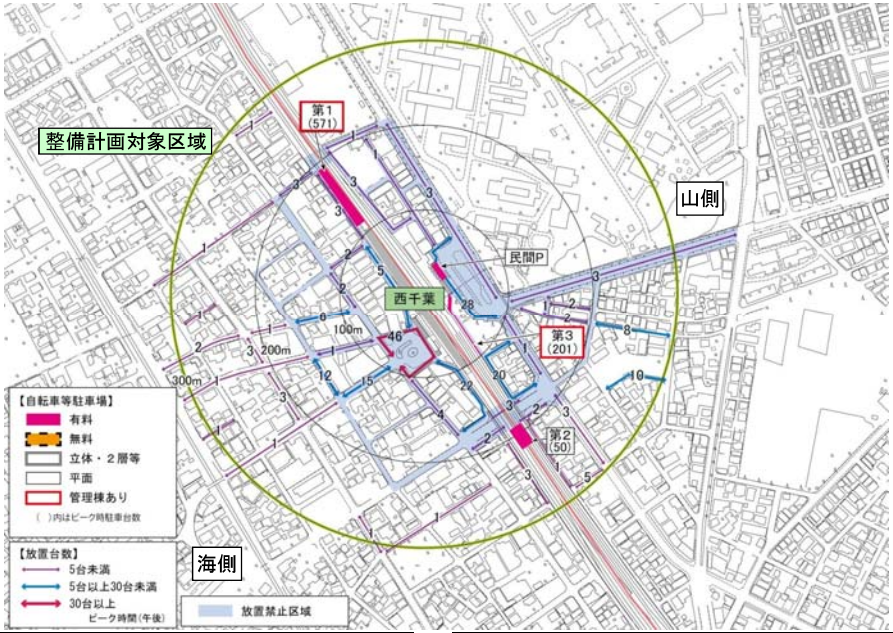
【整備計画】

海側及び山側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小を検討する。
なお、第1駐輪場の余剰スペースを保管場として活用することを検討する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	1,087	894	193	2,402
自転車	1,007	825	182	2,290
原付	80	69	11	112



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	424	302	122	1,127
自転車	385	269	116	1,065
原付	39	33	6	62

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	663	592	71	1,275
自転車	622	556	66	1,225
原付	41	36	5	50

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	23,396 人／日

(H26千葉市統計書)

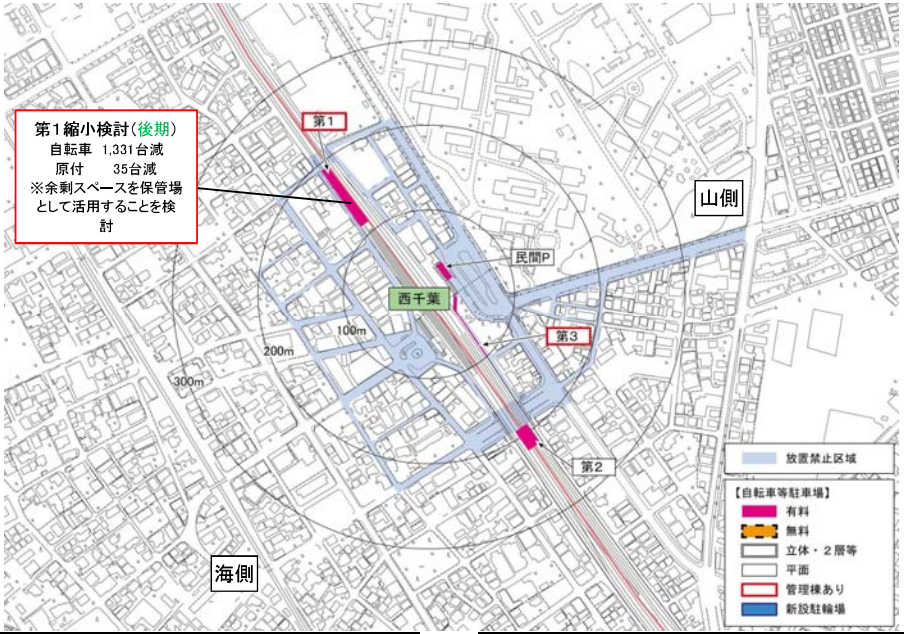
【需要推計】

西千葉駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は1036台と推計しており、現在の収容台数は2,402台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		0.95	0.96		0.99	0.99		0.93	0.93

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,087	—	1,036	0	1,036	2,402	−
自転車	1,007	0.95	959	0	959	2,290	−
原付	80	0.96	77	0	77	112	−



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	424	—	420	0	420	1,127	−
自転車	385	0.99	381	0	381	1,065	−
原付	39	0.99	39	0	39	62	−

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	663	—	616	0	616	1,275	−
自転車	622	0.93	578	0	578	1,225	−
原付	41	0.93	38	0	38	50	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(原付)	一時利用(内数) 現況(原付)	一時利用(内数) 計画(原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第1	縮小検討	1,000 (50)	−707 (−23)	293 (27)	100 (10)	100 (10)	後期	JR	市	市
	第2		127 (12)		127 (12)	0 (0)	0 (0)	−	JR	市	市
	計		1,127 (62)	−707 (−23)	420 (39)	100 (10)	100 (10)				
山側	第1	縮小検討	1,000 (50)	−659 (−12)	341 (38)	0 (0)	0 (0)	後期	JR	市	市
	第3		203 (0)		203 (0)	203 (0)	203 (0)	−	市	市	市
	民間P		72 (0)		72 (0)	72 (0)	72 (0)	−	民	民	民
	計		1,275 (50)	−659 (−12)	616 (38)	275 (0)	275 (0)				
駅計			2,402 (112)	−1,366 (−35)	1,036 (77)	375 (10)	375 (10)				

※主体欄 市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本 京成：京成電鉄 モノ：千葉都市モノレール 民：個人または民間事業者
※整備時期欄 前期：H28～30 後期：H31～33

JR総武本線・京成電鉄千葉線・千葉都市モノレール1・2号線

千葉駅・栄町駅

【現　況】

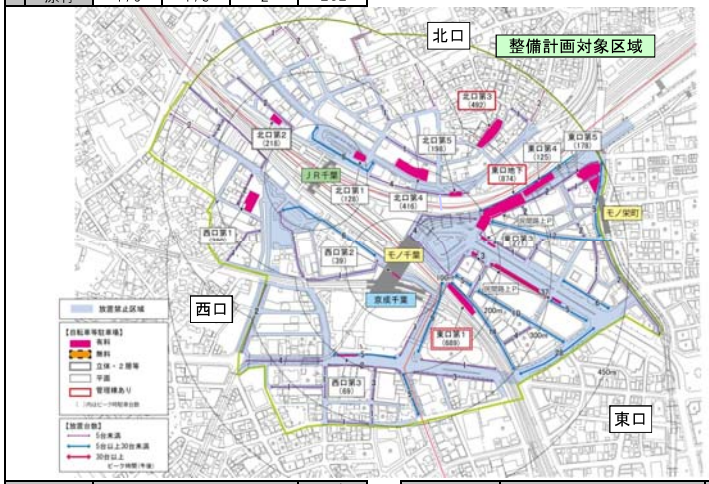
千葉駅は、JR線、京成線、モノレールが乗入れ、1日平均乗車人員は計約13万人と市内で最も多く、自転車等の乗入れ台数も4,453台と最も多い。
駐輪場は、西口に3箇所、東口に6箇所、北口に5箇所設置しており、収容台数は5,004台となっている。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入			収容台数
		駐車	放置	
計	4,453	4,214	239	5,004
自転車	4,002	3,785	217	4,429
原付	451	429	22	575

北口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,469	1,452	17	1,835
自転車	1,294	1,279	15	1,583
原付	175	173	2	252



西口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	446	398	48	499
自転車	403	359	44	459
原付	43	39	4	40

東口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	2,538	2,364	174	2,670
自転車	2,305	2,147	158	2,387
原付	233	217	16	283

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
JR	105,812 人／日
京成	13,275 人／日
モノレール(千葉)	11,287 人／日
モノレール(栄町)	208 人／日

(H26千葉市統計書)

【需要推計】

千葉駅周辺では、計画目標年次(平成33年)の乗入台数は4,608台と推計している。駅全体の収容台数は5,004台であり、充足しているが、東口、西口では、再開発事業に伴い、既存駐輪場の移転や再整備が必要となっている。なお、西口では既にオープンしているウエストリオビルの商業活動による新規需要が見込まれる。
北口では、駅前の第4が借地による駐輪場となっており、今後、地権者から用地の返還請求が予想されることから、路上駐輪場の活用や既存駐輪場の再整備を行う必要がある。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付
		1.00	1.00
	北口	0.96	0.96
	西口	1.01	1.01
	東口	1.02	1.02

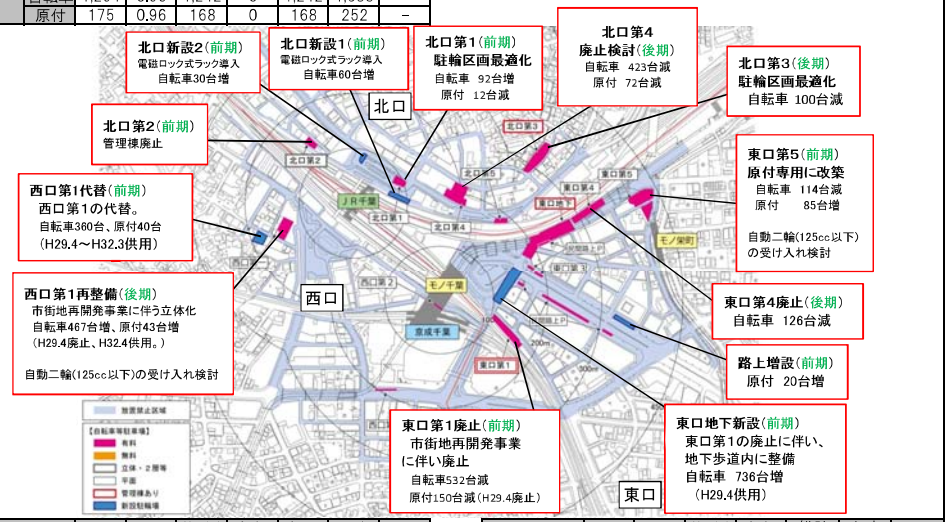
西口再開発事業地区ビル開業により想定される自転車乗入需要

A工区	駐輪場設置台数	店舗面積	面積当り必要台数	附置計算台数	必要台数
A1棟	44台	835㎡	1台／ 20㎡	42台	-2台
A2棟	0台	2307㎡	1台／ 20㎡	116台	116台
A3棟	0台	889㎡	1台／ 20㎡	45台	45台
			計	203台	159台

【整備計画】

北口では、北口第4の地権者からの用地返還請求を見込み、駅広や幅広歩道を活用した路上駐輪場の整備を行う。
西口では、市街地再開発事業により西口第1を立体駐輪場へ改築する。
東口では、市街地再開発事業により東口第1が廃止となることから代替駐輪場を地下歩道内に整備する。

整備計画図



全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	4,453	—	4,449	159	4,608	5,004	−
自転車	4,002	1.00	4,000	159	4,159	4,429	−
原付	451	1.00	449	0	449	575	−

北口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,469	—	1,410	0	1,410	1,835	−
自転車	1,294	0.96	1,242	0	1,242	1,583	−
原付	175	0.96	168	0	168	252	−

西口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	446	—	450	159	609	499	110
自転車	403	1.01	407	159	566	459	107
原付	43	1.01	43	0	43	40	3

東口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規 需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	2,538	—	2,589	0	2,589	2,670	−
自転車	2,305	1.02	2,351	0	2,351	2,387	−
原付	233	1.02	238	0	238	283	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(内原付)	台数 整備(内原付)	台数 計(内原付)	一時利用(内数) 現況(内原付)	一時利用(内数) 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
北口	第1	駐輪区画最適化	184 (20)	80 (-12)	264 (8)	84 (0)	84 (0)	前期	市	市	市
	第2	管理棟廃止	330 (80)		330 (80)	100 (20)	0 (0)	前期	市	市	市
	第3	駐輪区画最適化	630 (80)	-100 (0)	530 (80)	100 (20)	100 (20)	後期	市	市	市
	第4	廃止検討	495 (72)	-495 (-72)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	民	市	市
	第5		196 (0)		196 (0)	196 (0)	196 (0)	−	市	市	市
	新設1	路上　電磁ロック式ラック		60 (0)	60 (0)		60 (0)	前期	市	市	市
	新設2	路外　電磁ロック式ラック		30 (0)	30 (0)		30 (0)	前期	市	市	市
	計		1,835 (252)	-425 (-84)	1,410 (168)	480 (40)	470 (20)				
西口	第1	廃止	400 (40)	-400 (-40)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市	市
	第2		33 (0)		33 (0)	33 (0)	33 (0)	−	市	市	市
	第3		66 (0)		66 (0)	66 (0)	66 (0)	−	市	市	市
	代替	H28整備～H32撤去			0 (0)	0 (0)	0 (0)	前期	市	民	民
	新設1	B工区再開発ビル内		510 (43)	510 (43)		0 (0)	後期	市	民	市
	計		499 (40)	110 (3)	609 (43)	99 (0)	99 (0)				
東口	第1	廃止	682 (150)	-682 (-150)	0 (0)	200 (50)	0 (0)	前期	市	市	市
	第3		408 (0)		408 (0)	0 (0)	0 (0)	−	市	市	市
	第4	廃止	126 (0)	-126 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	第5	原付専用に改築	247 (133)	-29 (85)	218 (218)	0 (0)	0 (0)	前期	市	市	市
	地下		980 (0)		980 (0)	120 (0)	120 (0)	−	市	市	市
	路上	増設	227 (0)	20 (20)	247 (20)	227 (0)	247 (20)	前期	市	民	民
	新設	新設　地下歩道		736 (0)	736 (0)		0 (0)	前期	市	市	市
	計		2,670 (283)	-81 (-45)	2,589 (238)	547 (50)	367 (20)				
駅計			5,004 (575)	-396 (-126)	4,608 (449)	1,126 (90)	936 (40)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～H30　後期：H31～H33

JR総武本線

東千葉駅

【現　況】

東千葉駅は、1日平均乗車人員は約2,200人、自転車等の乗入台数は51台である。
駐輪場は海側に1箇所、山側に2箇所設置しており、収容台数は247台となっている。

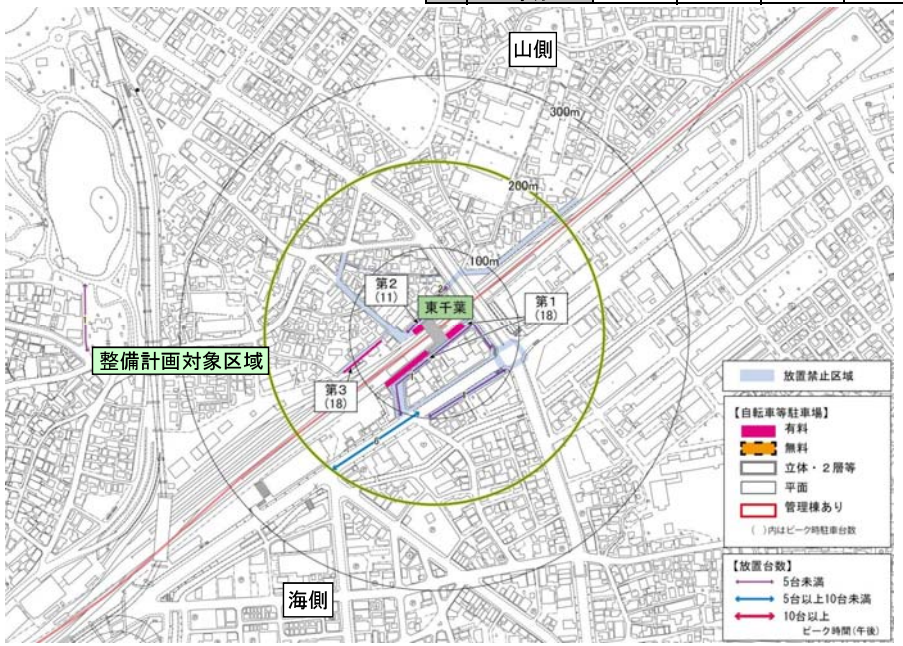
【整備計画】

海側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小を検討する。
山側においても推計台数が収容台数を下回ることから、第3駐輪場の廃止を検討する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体		ピーク時乗入台数			収容台数
			駐車	放置	
計		51	47	4	247
	自転車	49	45	4	235
	原付	2	2	0	12



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	20	18	2	92
自転車	19	17	2	86
原付	1	1	0	6

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	31	29	2	155
自転車	30	28	2	149
原付	1	1	0	6

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	2,186 人／日

（H26千葉市統計書）

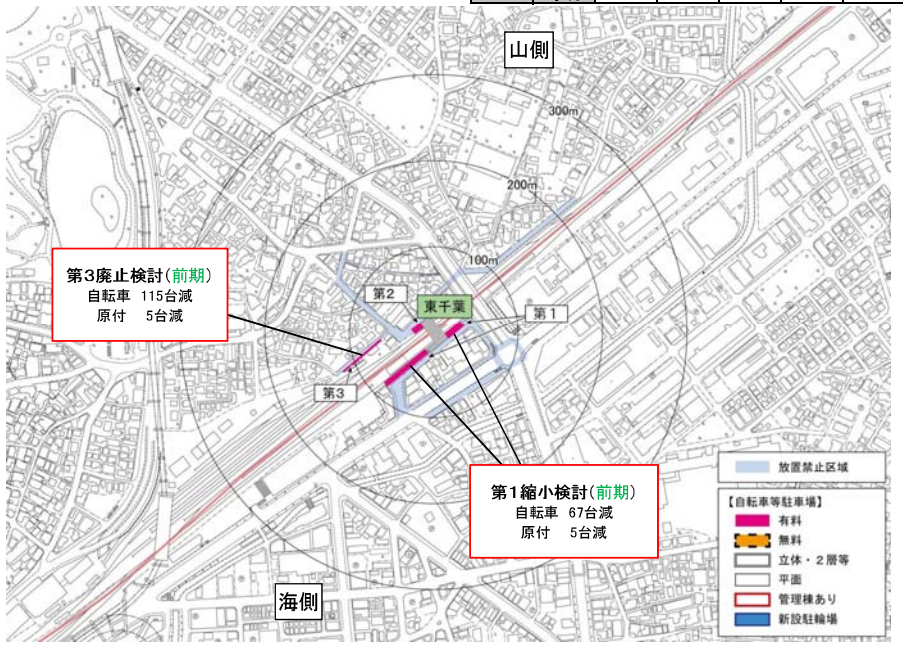
【需要推計】

東千葉駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は51台と推計しており、現在、収容台数は247台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		1.00	1.00		1.00	1.00		1.00	1.00

整備計画図

全体		乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計		51	—	51	0	51	247	－
	自転車	49	1.00	49	0	49	235	－
	原付	2	1.00	2	0	2	12	－



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	20	—	20	0	20	92	－
自転車	19	1.00	19	0	19	86	－
原付	1	1.00	1	0	1	6	－

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	31	—	31	0	31	155	－
自転車	30	1.00	30	0	30	149	－
原付	1	1.00	1	0	1	6	－

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(原付)	一時利用(内数) 現況(原付)	一時利用(内数) 計画(原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第1	縮小検討	92 (6)	-72 (-5)	20 (1)	50 (0)	10 (0)	前期	市	市	市
	計		92 (6)	-72 (-5)	20 (1)	50 (0)	10 (0)				
山側	第2		35 (1)		35 (1)	0 (0)	0 (0)	—	市	市	市
	第3	廃止検討	120 (5)	-120 (-5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	前期	JR	市	市
	計		155 (6)	-120 (-5)	35 (1)	0 (0)	0 (0)				
駅計			247 (12)	-192 (-10)	55 (2)	50 (0)	10 (0)				

※主体欄　市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

JR総武本線・千葉都市モノレール2号線

都賀駅

【現　況】

都賀駅は、JR線とモノレールを合わせた1日平均乗車人員が約2万6千人、自転車等の乗入台数は約2,000台である。
駐輪場は西口に2箇所、東口に6箇所設置しており、収容台数は2,874台となっている。

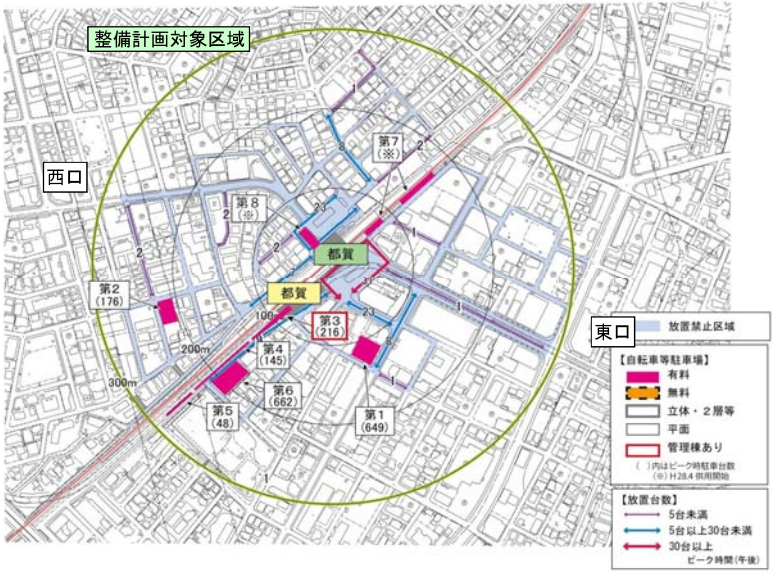
【整備計画】

東口は、推計台数が収容台数を下回ることから、第4、第5駐輪場の廃止及び第3駐輪場の縮小を検討する。なお、第1、第6駐輪場は民地借地による駐輪場であることから、安定的な収容台数の確保を前提としつつ、駐輪場の縮小及び廃止について検討を行う。また、第1、第6駐輪場の区画変更を行う。
西口においても推計台数が収容台数を下回ることから、第2駐輪場の縮小を検討する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

全体	ピーク時乗入台数			収容台数
		駐車	放置	
計	2,015	1,896	119	2,874
自転車	1,887	1,773	114	2,639
原付	128	123	5	235



西口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	221	176	45	668
自転車	203	160	43	608
原付	18	16	2	60

東口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,794	1,720	74	2,206
自転車	1,684	1,613	71	2,031
原付	110	107	3	175

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	20,683 人／日
モノレール	5,695 人／日

（H26千葉市統計書）

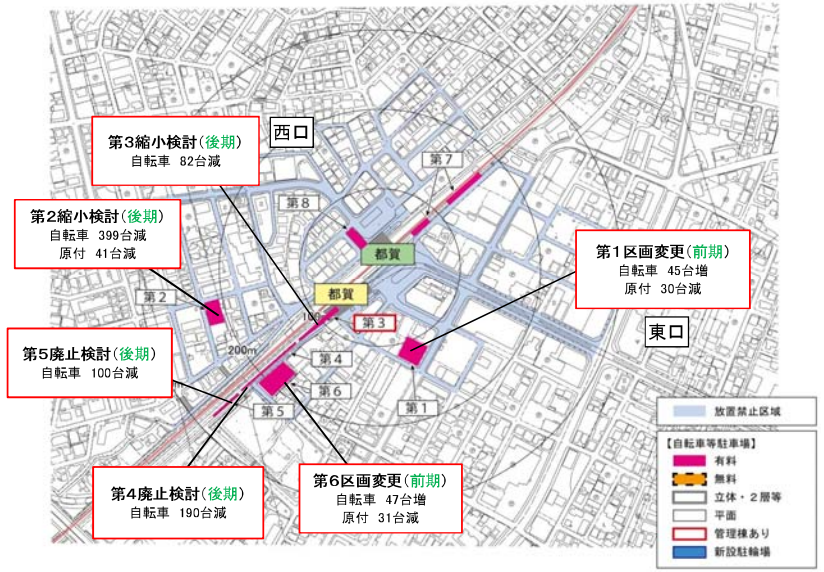
【需要推計】

都賀駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は2,093台と推計しており、現在、収容台数は2,874台を確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体		西口			東口		
	自転車	原付	自転車	原付		自転車	原付	
	1.04	1.04	1.03	1.03		1.04	1.04	

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	2,015	—	2,093	0	2,093	2,874	−
自転車	1,887	1.04	1,960	0	1,960	2,639	−
原付	128	1.04	133	0	133	235	−



西口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	221	—	228	0	228	668	−
自転車	203	1.03	209	0	209	608	−
原付	18	1.03	19	0	19	60	−

東口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,794	—	1,865	0	1,865	2,206	−
自転車	1,684	1.04	1,751	0	1,751	2,031	−
原付	110	1.04	114	0	114	175	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	整備(原付)	計(原付)	一時利用(内数) 現況(原付)	計画(原付)	整備時期	主体 用地	整備	運営
西口	第2	縮小検討	522 (60)	−440 (−41)	82 (19)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	第8		146 (0)		146 (0)	96 (0)	96 (0)	—	市	市	市
	計		668 (60)	−440 (−41)	228 (19)	96 (0)	96 (0)				
東口	第1	区画変更	795 (82)	15 (−30)	810 (52)	0 (0)	0 (0)	前期	民	市	市
	第3	縮小検討	227 (20)	−82 (0)	145 (20)	137 (20)	137 (20)	後期	市	市	市
	第4	廃止検討	190 (0)	−190 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	第5	廃止検討	100 (0)	−100 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	第6	区画変更	805 (73)	16 (−31)	821 (42)	0 (0)	0 (0)	前期	民	市	市
	第7		89 (0)		89 (0)	29 (0)	29 (0)	—	JR	市	市
	計		2,206 (175)	−341 (−61)	1,865 (114)	166 (20)	166 (20)				
駅計			2,874 (235)	−781 (−102)	2,093 (133)	262 (20)	262 (20)				

※主体欄　市：千葉市、県:千葉県、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

JR外房線

本千葉駅

【現　況】

本千葉駅は、1日平均乗車人員は約9,800人、自転車等の乗入台数は429台である。
駐輪場は2箇所設置しており、収容台数は970台となっている。

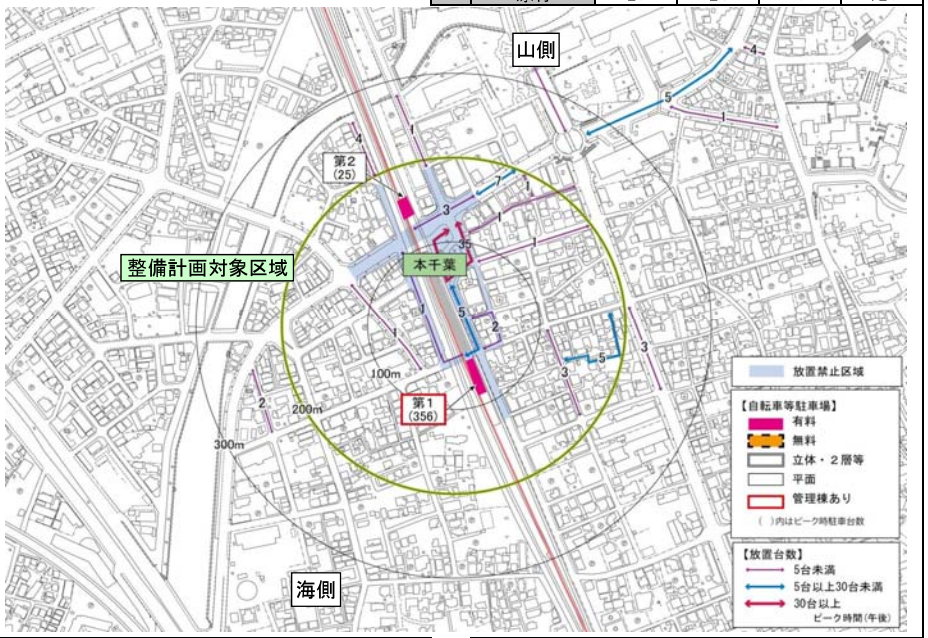
【整備計画】

海側及び山側では、推計台数が収容台数を下回ることから、第1駐輪場の縮小を検討する。
なお、第1駐輪場の余剰スペースは、保管場として活用することを検討する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

	全体	ピーク時乗入台数			収容台数
			駐車	放置	
計		429	381	48	970
	自転車	400	355	45	850
	原付	29	26	3	120



海側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	193	192	1	485
自転車	178	178	0	425
原付	15	14	1	60

山側	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	236	189	47	485
自転車	222	177	45	425
原付	14	12	2	60

◆参考データ

駅利用	1日平均乗車人員(H25)
JR	9,807 人／日

（H26千葉市統計書）

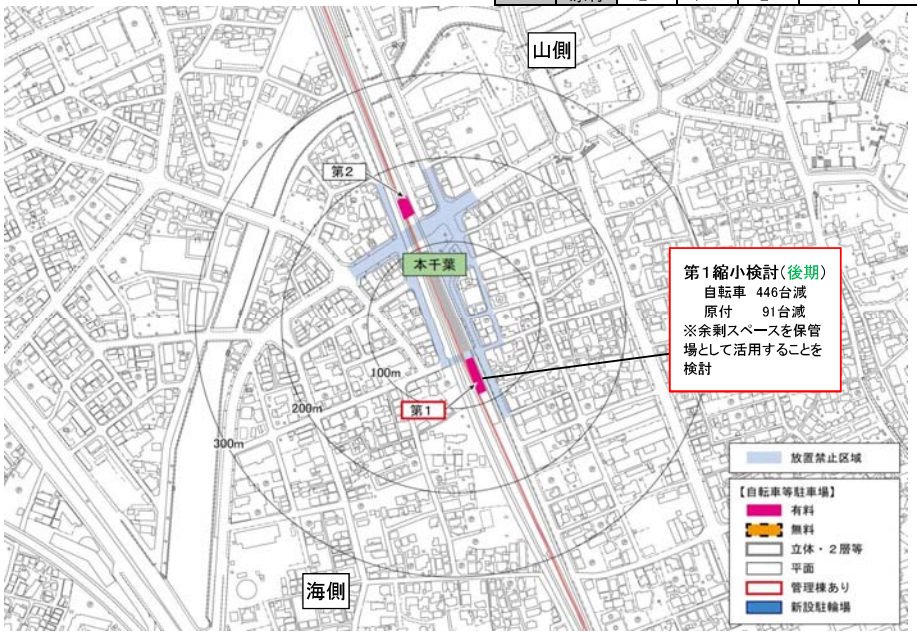
【需要推計】

本千葉駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は433台と推計しており、現在、収容台数を970台確保していることから充足している。

計画期間(H33)の伸び率	全体	自転車	原付	海側	自転車	原付	山側	自転車	原付
		1.01	1.00		1.00	1.00		1.02	1.02

整備計画図

	全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計		429	—	433	0	433	970	−
	自転車	400	1.01	404	0	404	850	−
	原付	29	1.00	29	0	29	120	−



海側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	193	—	193	0	193	485	−
自転車	178	1.00	178	0	178	425	−
原付	15	1.00	15	0	15	60	−

山側	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	236	—	240	0	240	485	−
自転車	222	1.02	226	0	226	425	−
原付	14	1.02	14	0	14	60	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(原付)	一時利用(内数) 現況(原付)	一時利用(内数) 計画(原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
海側	第1	縮小	410 (50)	−292 (−45)	118 (5)	50 (10)	50 (10)	後期	JR	市	市
	第2		75 (10)		75 (10)	0 (0)	0 (0)	—	JR	市	市
	計		485 (60)	−292 (−45)	193 (15)	50 (10)	50 (10)				
山側	第1	縮小	410 (50)	−245 (−46)	165 (4)	50 (10)	50 (10)	後期	JR	市	市
	第2		75 (10)		75 (10)	0 (0)	0 (0)	—	JR	市	市
	計		485 (60)	−245 (−46)	240 (14)	50 (10)	50 (10)				
駅計			970 (120)	−537 (−91)	433 (29)	100 (20)	100 (20)				

※主体欄　市：千葉市、県：千葉県、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33

JR外房線・内房線・京葉線

蘇我駅

【現　況】

JR蘇我駅には京葉線・外房線・内房線が乗入れており、1日平均乗車人員は約3万2千人と市内で4番目に多い。また、自転車等の乗入台数も4,605台と市内で3番目に多い。
駐輪場は、東口に7箇所、西口に4箇所設置し、収容台数は5,424台となっている。

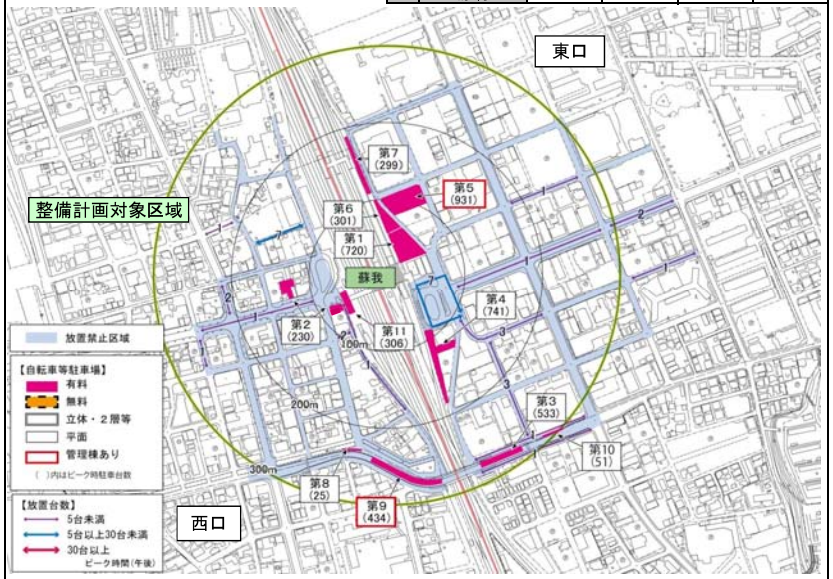
【整備計画】

西口では、推計台数が収容台数を下回ることから、第2駐輪場の廃止を検討する。また、第11駐輪場では、電磁ロック式ラックの増設を行うものとし、第9駐輪場の管理棟の廃止を検討する。
東口では、推計台数が収容台数を下回ることから、第4駐輪場の民地借地部及び第10駐輪場の廃止を検討する。

駐車台数・放置台数

測定日：平成27年6月2日
図はピーク時の台数を示している。

	全体	ピーク時乗入台数			収容台数
			駐車	放置	
計		4,605	4,571	34	5,424
自転車		4,193	4,166	27	4,970
原付		412	405	7	454



西口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	1,009	995	14	1,256
自転車	947	938	9	1,202
原付	62	57	5	54

東口	乗入台数	駐車	放置	収容台数
計	3,596	3,576	20	4,168
自転車	3,246	3,228	18	3,768
原付	350	348	2	400

◆参考データ

駅利用状況	1日平均乗車人員(H25)
JR	31,931 人／日

（H26千葉市統計書）

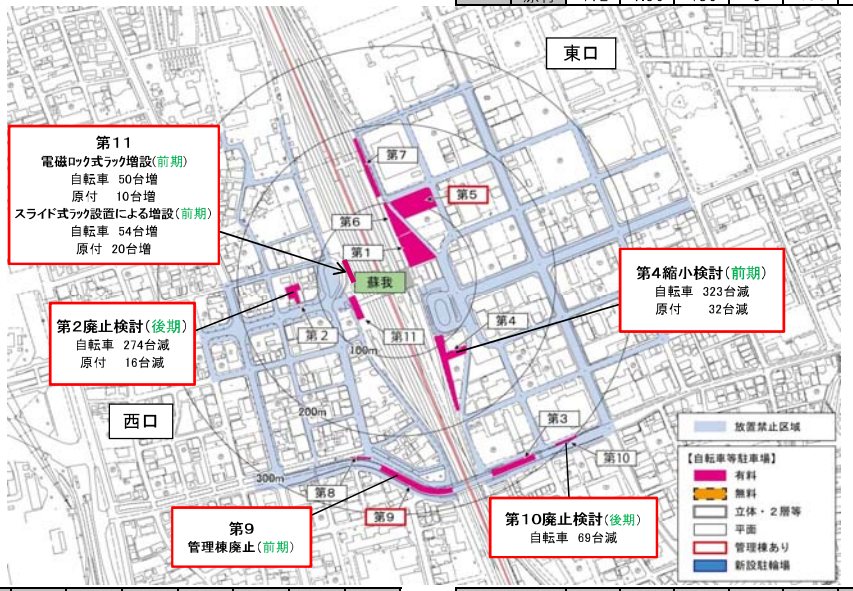
【需要推計】

蘇我駅周辺では、計画目標年次（平成33年）の乗入台数は推計で4,876台となり、現在、収容台数を5,424台確保していることから充足している。

計画期間(H27)の伸び率	全体			西口			東口		
	自転車	原付		自転車	原付		自転車	原付
	1.06	1.06		1.09	1.09		1.05	1.05

整備計画図

全体	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	4,605	—	4,876	0	4,876	5,424	−
自転車	4,193	1.06	4,440	0	4,440	4,970	−
原付	412	1.06	436	0	436	454	−



西口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	1,009	—	1100	0	1,100	1,256	−
自転車	947	1.09	1032	0	1,032	1,202	−
原付	62	1.09	68	0	68	54	14

東口	乗入台数	伸び率	伸び後の台数	新規需要台数	推計台数	収容台数	不足台数
計	3,596	—	3,776	0	3,776	4,168	−
自転車	3,246	1.05	3,408	0	3,408	3,768	−
原付	350	1.05	368	0	368	400	−

◆整備内容

駅口	駐輪場	整備手法	台数 現況(原付)	台数 整備(原付)	台数 計(内原付)	内 一時利用 現況(内原付)	内 一時利用 計画(内原付)	整備時期	主体 用地	主体 整備	主体 運営
西口	第2	廃止検討	290 (16)	−290 (−16)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	民	市	市
	第8		55 (0)		55 (0)	0 (0)	0 (0)	−	市	市	市
	第9	管理棟廃止	537 (38)		537 (38)	50 (10)	0 (0)	前期	市	市	市
	第11	増設　電磁ロック式ラック、二段ラック	374 (0)	134 (30)	508 (30)	78 (0)	138 (10)	前期	JR	JR	市
	計		1,256 (54)	−156 (14)	1,100 (68)	128 (10)	138 (10)				
東口	第1		869 (154)		869 (154)	0 (0)	0 (0)	−	民	市	市
	第3		650 (50)		650 (50)	0 (0)	0 (0)	−	市	市	市
	第4	縮小検討（借地廃止）	911 (50)	−323 (−32)	588 (18)	0 (0)	0 (0)	前期	市・民	市	市
	第5		959 (106)		959 (106)	200 (20)	200 (20)	−	市	市	市
	第6		350 (40)		350 (40)	0 (0)	0 (0)	−	民	市	市
	第7		360 (0)		360 (0)	0 (0)	0 (0)	−	JR	JR	市
	第10	廃止検討	69 (0)	−69 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	後期	市	市	市
	計		4,168 (400)	−392 (−32)	3,776 (368)	200 (20)	200 (20)				
駅計			5,424 (454)	−548 (−18)	4,876 (436)	328 (30)	338 (30)				

※主体欄　市：千葉市、JR：JR東日本　京成：京成電鉄　モノ：千葉都市モノレール　民：個人または民間事業者
※整備時期欄　前期：H28～30　後期：H31～33